

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2018年2月号参照）。

### 平成29砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

#### 【砂糖】

総消費量：193万7000トン（前回見通しから9000トン減）

総供給量：193万4000トン（同1万7000トン増）

#### 【異性化糖】

消費量および供給量：81万5000トン（同1000トン増）

表1 平成29砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		平成28砂糖年度 (実績)	平成29砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,893	503.6	443.4	477.8	475.2	1,900	
	含みつ糖	36	5.9	14.8	10.5	6.0	37	
	合計	1,929	509.5	458.2	488.3	481.2	1,937	
供給量	国内産糖	分みつ糖	678	374.0	390.6	40.4	-	805
		含みつ糖	10	0.7	8.5	1.5	-	11
		小計	688	374.7	399.1	41.9	-	816
	輸入糖	分みつ糖	1,191	319.9	166.1	294.0	328.1	1,108
		含みつ糖	10	1.4	4.7	3.1	0.9	10
		小計	1,201	321.3	170.8	297.1	329.0	1,118
	合計	分みつ糖	1,869	693.9	556.7	344.4	328.1	1,913
		含みつ糖	20	2.1	13.2	4.6	0.9	21
		小計	1,889	696.0	569.9	399.0	329.0	1,934
期末在庫		272	453.2	564.9	415.5	263.3	263	

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成29砂糖年度における異性化糖の需給見通し

（単位：千トン）

	平成28砂糖年度 (実績)	平成29砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	832	168.9	177.4	244.8	223.5	815
供給量	832	168.9	177.4	244.8	223.5	815

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

## 2. 異性化糖の移出動向

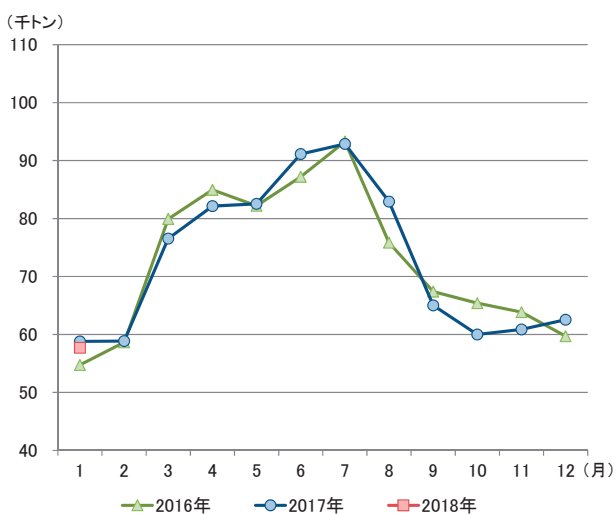
### 1月の移出数量は前年同月からわずかに減少

2018年1月の異性化糖の移出数量は、5万7693トン（前年同月比1.9%減、前月比7.7%減）であった（図1）。

規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

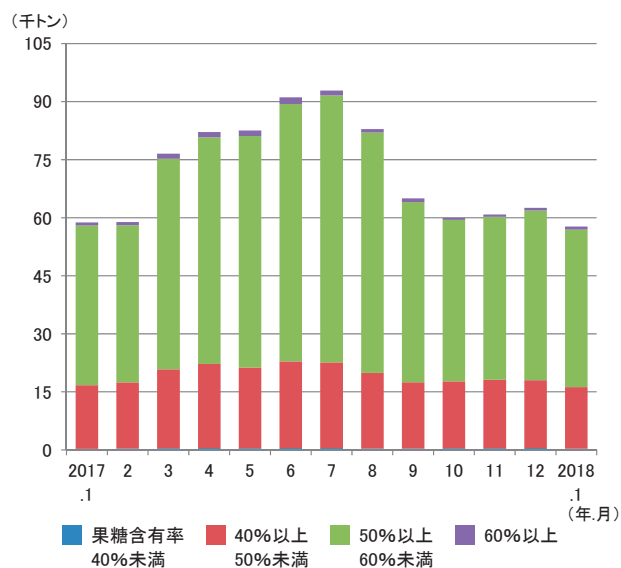
果糖含有率40%未満	341トン
（前年同月比9.0%増、前月比27.0%減）	
同40%以上50%未満	1万5882トン
（同3.2%減、同9.4%減）	
同50%以上60%未満	4万729トン
（同1.3%減、同7.1%減）	
同60%以上	740トン
（同6.4%減、同7.2%増）	

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

## 3. 輸入動向

### 【分みつ糖の輸入動向】

#### 12月の輸入量は前年同月から大幅に減少

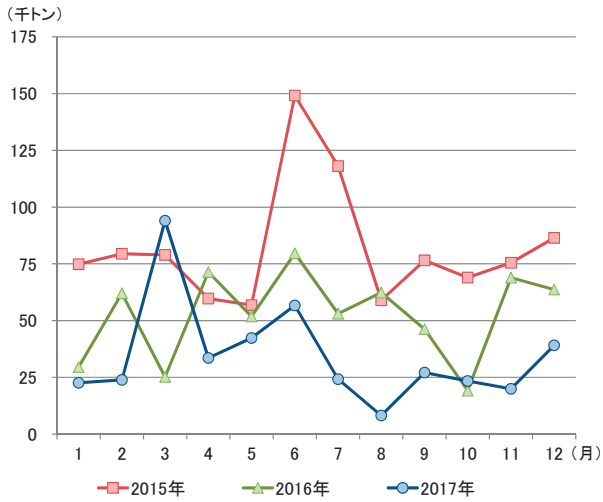
財務省「貿易統計」によると、2017年12月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、3万9119トン（前年同月比38.5%減、前月比95.8%増）であった（図3）。

輸入先国は南アフリカ、豪州、フィリピンおよび米国の4カ国で、輸入量は次の通りであった（図4）。

南アフリカ	2万6000トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
豪州	9988トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
フィリピン	3121トン
（前年同月輸入実績なし、前月比65.3%減）	
米国	10トン
（前年同月比25.0%増、同2.0倍）	

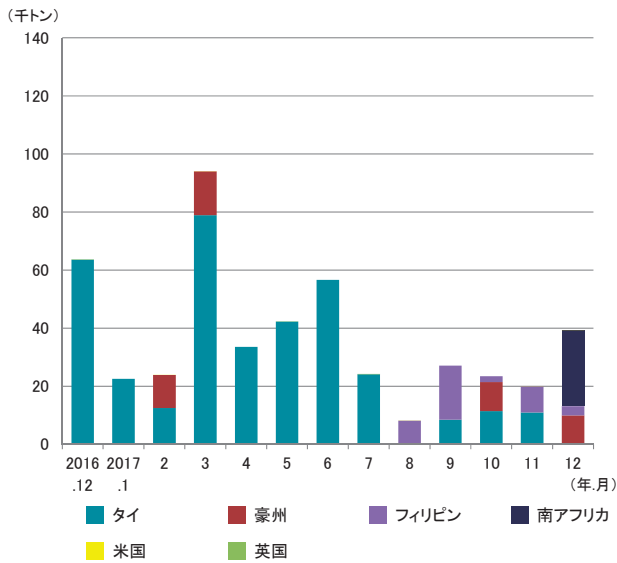
また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、9万937トン（前年同月比55.5%増、前月比31.3%減）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110

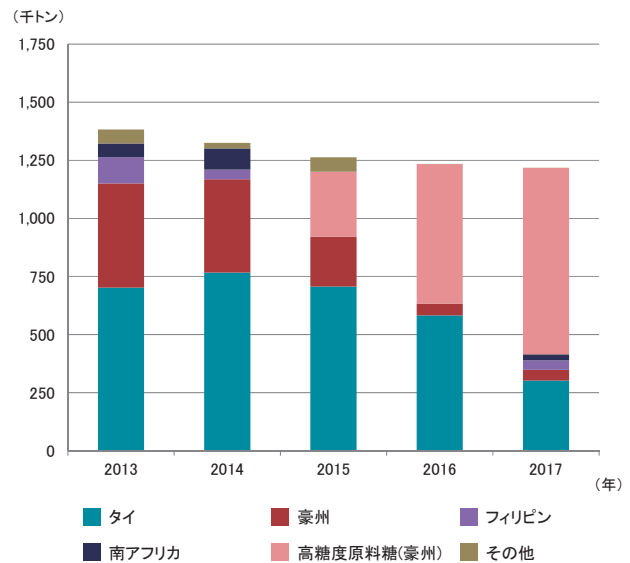
2017年1～12月の分みつ糖の輸入量は41万5142トン（前年比34.4%減）で、豪州からの高糖度原料糖80万1876トン（同33.5%増）と合わせた輸入量は121万7018トン（同1.4%減）であった（図5）。

輸入先国は豪州、タイ、フィリピン、南アフリカおよび米国などの6カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

豪州	84万8349トン <sup>(注)</sup>
	（前年比30.3%増）
タイ	30万1819トン
	（同48.2%減）
フィリピン	4万737トン
	（前年輸入実績なし）
南アフリカ	2万6000トン
	（前年輸入実績なし）
米国	111トン
	（前年比57.1%減）
英国	2トン
	（前年同）

（注）高糖度原料糖の輸入量を含む。

図5 分みつ糖の年別国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注1：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）  
注2：2017年は速報値である。

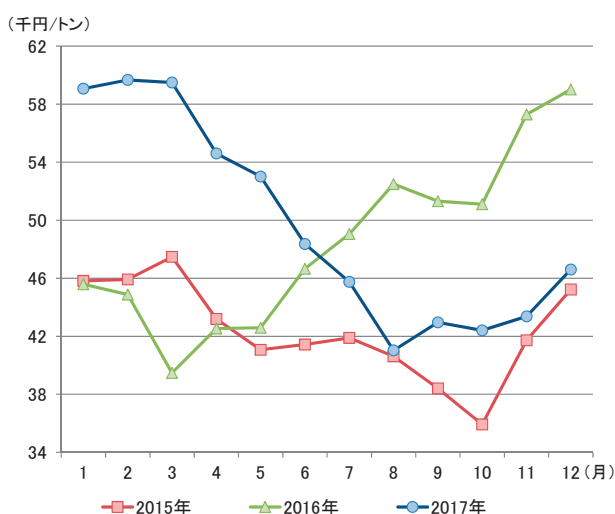
2017年12月の1トン当たりの輸入価格は、4万6601円（前年同月比21.0%安、前月比7.5%高）であった（図6）。

南アフリカ	4万8470円
	（前年同月および前月輸入実績なし）
豪州	4万2274円
	（前年同月および前月輸入実績なし）

フィリピン 4万4608円  
 (前年同月輸入実績なし、前月比4.9%高)  
 米国 13万1900円  
 (前年同月比40.8%安、同70.0%安)

また、同月における豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、4万5286円(前年同月比27.7%安、前月比6.3%高)であった。

図6 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.14-110

### 【含みつ糖の輸入動向】

#### 12月の輸入量は前年同月から大幅に減少

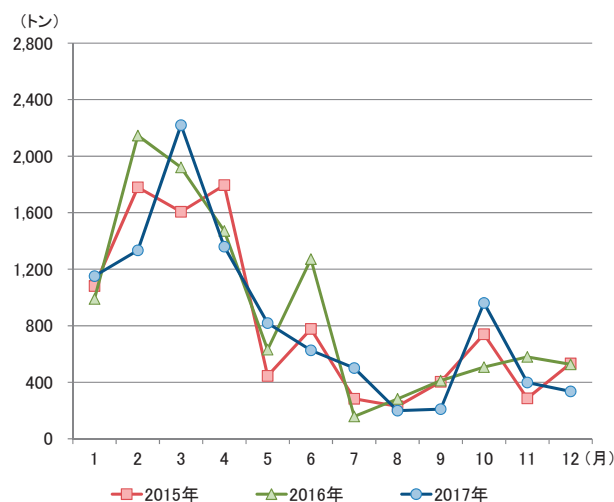
財務省「貿易統計」によると、2017年12月の含みつ糖(HSコード1701.13-000、1701.14-190)の輸入量は、335トン(前年同月比36.3%減、前月比16.0%減)であった(図7)。

輸入先国はポリビア、中国、フィリピンおよびブラジルの4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった(図8)。

ポリビア 197トン  
 (前月同月比27.1%増、前月比2.6%増)  
 中国 74トン  
 (同66.1%減、同25.4%増)

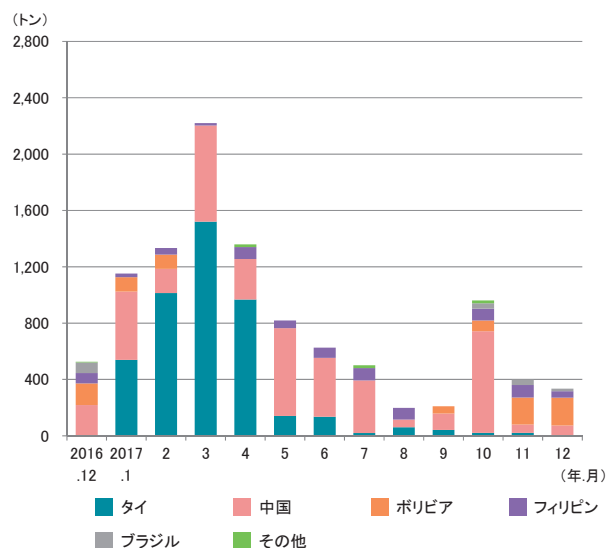
フィリピン 45トン  
 (同38.4%減、同49.4%減)  
 ブラジル 19トン  
 (同74.7%減、同50.0%減)

図7 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図8 含みつ糖の国別輸入量の推移



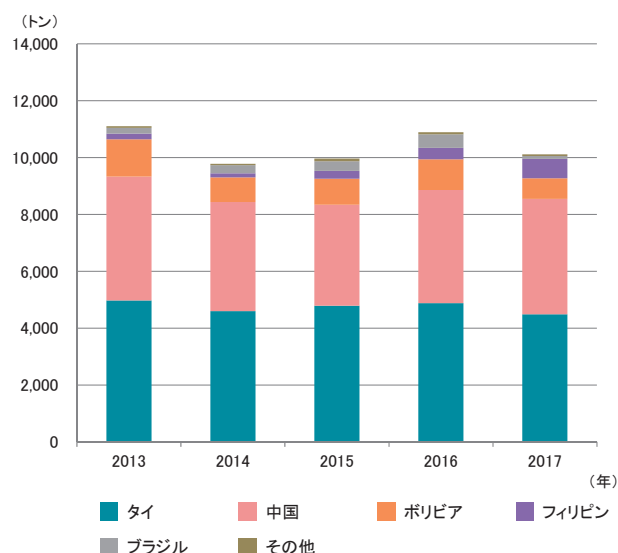
資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2017年1～12月の含みつ糖の輸入量は、1万115トン（前年比7.1%減）であった（図9）。

輸入先国はタイ、中国、ボリビア、フィリピンおよびブラジルなど7カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図9）。

タイ	4485トン
（前年比8.1%減）	
中国	4065トン
（同2.1%増）	
ボリビア	720トン
（同33.3%減）	
フィリピン	690トン
（同71.2%増）	
ブラジル	95トン
（同79.9%減）	
モーリシャス	40トン
（同2.0倍）	
コスタリカ	20トン
（同50.0%減）	

図9 含みつ糖の年別国別輸入量の推移



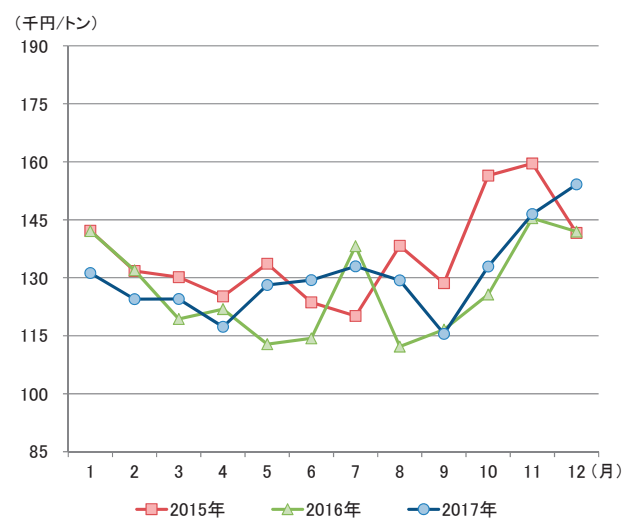
資料：財務省「貿易統計」  
 注1：HSコード1701.13-000、1701.14-190  
 注2：2017年は速報値である。

2017年12月の1トン当たりの輸入価格は、15万4152円（前年同月比8.6%高、前月比5.3%高）であった（図10）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ボリビア	13万7827円
（前年同月比0.2%安、前月比0.7%高）	
中国	15万2892円
（同33.6%高、同15.5%高）	
フィリピン	19万2667円
（同30.4%高、同29.7%高）	
ブラジル	23万7105円
（同5.9%高、同1.0%安）	

図10 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

### 【加糖調製品の輸入動向】

#### 12月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

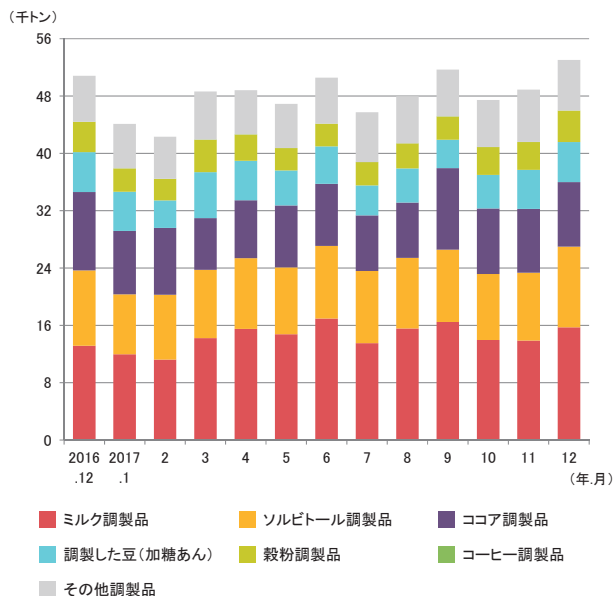
財務省「貿易統計」によると、2017年12月の加糖調製品の輸入量は、5万3054トン（前年同月比4.4%増、前月比8.5%増）であった（図11）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品 1万5743トン  
 (前年同月比19.7%増、前月比13.5%増)  
 ソルビトール調製品 1万1236トン  
 (同6.9%増、同18.8%増)  
 ココア調製品 9020トン  
 (同17.5%減、同0.9%増)  
 調製した豆(加糖あん) 5591トン  
 (同0.3%増、同3.1%増)  
 穀粉調製品 4364トン  
 (同3.5%増、同12.4%増)  
 コーヒー調製品 30トン  
 (同1.8%減、同40.0%増)  
 その他調製品 7069トン  
 (同10.5%増、同3.2%減)

品目別の輸入量は、次の通りであった。  
 ミルク調製品 17万3850トン  
 (前年比8.6%増)  
 ソルビトール調製品 11万6163トン  
 (同2.3%減)  
 ココア調製品 10万4720トン  
 (同10.6%増)  
 調製した豆(加糖あん) 6万111トン  
 (同4.2%減)  
 穀粉調製品 4万2768トン  
 (同0.5%減)  
 コーヒー調製品 314トン  
 (同15.8%減)  
 その他調製品 7万8393トン  
 (同3.3%減)

図11 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



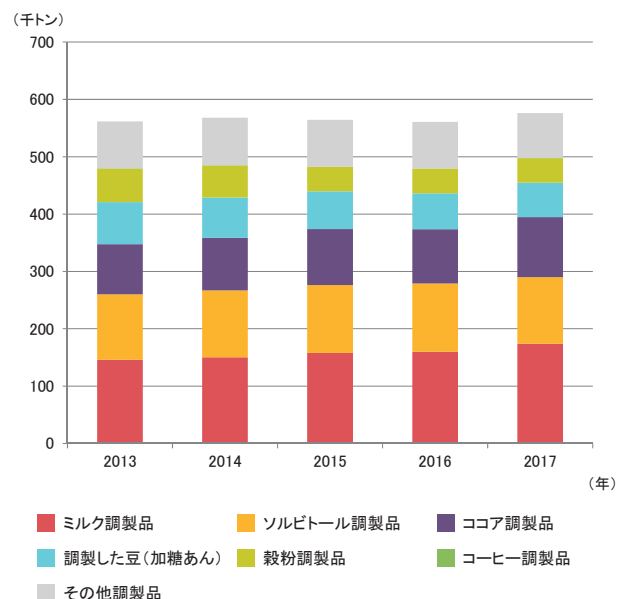
資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190  
 コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246  
 調製した豆(加糖あん)：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119  
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284  
 ソルビトール調製品：2106.90-510  
 穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252  
 その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

2017年1～12月の加糖調製品の輸入量は、57万6219トン(前年比2.8%増)となった(図12)。

図12 加糖調製品の年別品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：各品目のHSコードは次の通り。

ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190  
 コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246  
 調製した豆(加糖あん)：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119  
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284  
 ソルビトール調製品：2106.90-510  
 穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252  
 その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

注2：2017年は速報値である。

## 4. 価格動向

### 【市場価格】

#### 砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

1月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

##### 上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり189～190円
大阪	同190円
名古屋	同193円
関門	同193円

##### 上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり202～203円
大阪	同204円

##### 本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり194～195円
大阪	同195円
名古屋	同198円

##### ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり189～190円
大阪	同190円
名古屋	同191円

1月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

##### 果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

##### 果糖分55%もの

同137～138円

### 【小売価格】

#### 1月上白糖小袋の地域間の価格差は最大で26.1円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、194.1円（前年同月差2.8円高、前月差3.2円高）であった。

地域別<sup>（注）</sup>の平均小売価格は次の通りであった。

北海道 196.9円

（前年同月差7.3円高、前月差1.0円安）

東北 196.0円

（同0.7円高、同4.6円安）

関東など 181.3円

（同3.7円高、同0.4円安）

首都圏 196.7円

（同5.3円高、同7.8円高）

中部 182.3円

（同2.6円高、同2.7円高）

関西 193.2円

（同0.6円高、同2.4円高）

中国・四国 207.4円

（同4.2円安、同5.7円高）

九州・沖縄 198.5円

（同7.7円高、同6.3円高）

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は26.1円であった。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

## 1月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で74.5円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.2円（前年同月差2.9円高、前月差1.7円高）であった。

地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	201.8円
（前年同月差5.5円高、前月同）	
東北	276.3円
（同4.3円高、前月差0.3円安）	
関東など	248.7円
（同3.5円高、同1.1円安）	
首都圏	246.3円
（同0.9円高、同1.4円高）	
中部	248.3円
（同0.5円安、前月同）	
関西	230.1円
（同2.6円高、前月差0.1円高）	
中国・四国	262.2円
（同4.6円高、同11.0円高）	
九州・沖縄	224.1円
（同7.8円高、同1.5円高）	

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は74.5円であった。

## 1月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で44.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、236.5円（前年同月差3.5円高、前月差2.3円高）であった。

地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	251.2円
（前年同月差11.4円高、前月差5.9円高）	
東北	258.4円
（同3.1円高、同0.8円安）	
関東など	241.4円
（同1.1円高、同1.6円安）	
首都圏	230.1円
（同3.0円高、同2.0円高）	
中部	228.4円
（同2.1円高、同1.7円高）	
関西	226.2円
（同1.7円高、同2.8円高）	
中国・四国	253.7円
（同1.8円高、同6.6円高）	
九州・沖縄	214.2円
（同6.1円高、同0.9円高）	

最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は44.2円であった。

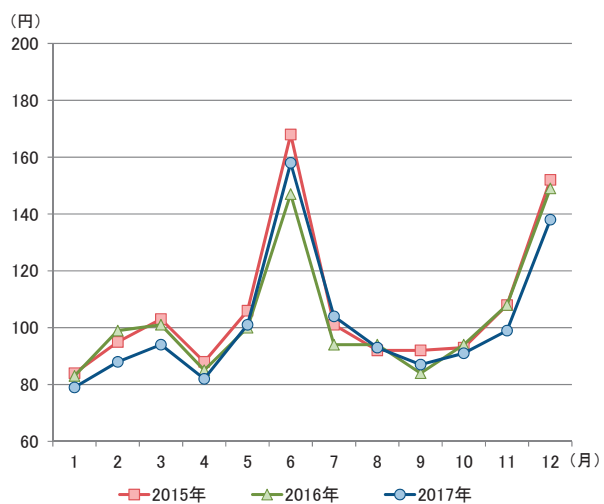
## 【購入金額および購入量】

### 12月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度下落

総務省「家計調査」によると、2017年12月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は56で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、138円（前年同月比7.4%安、前月比39.4%高）であった（図13）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、640グラム（同6.0%減、同53.1%増）であった（図14）。

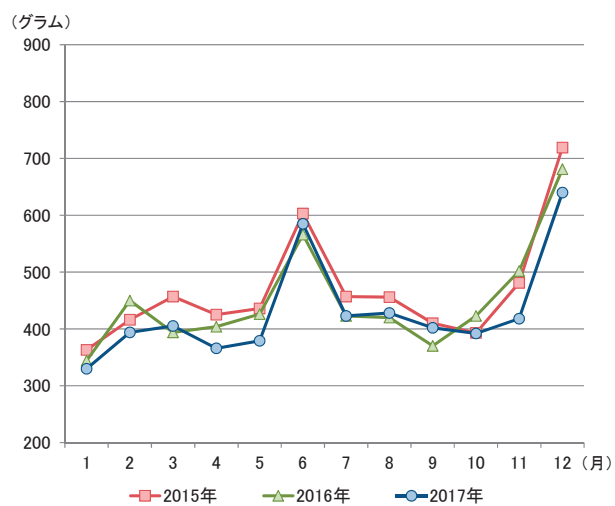


図13 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図14 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」